

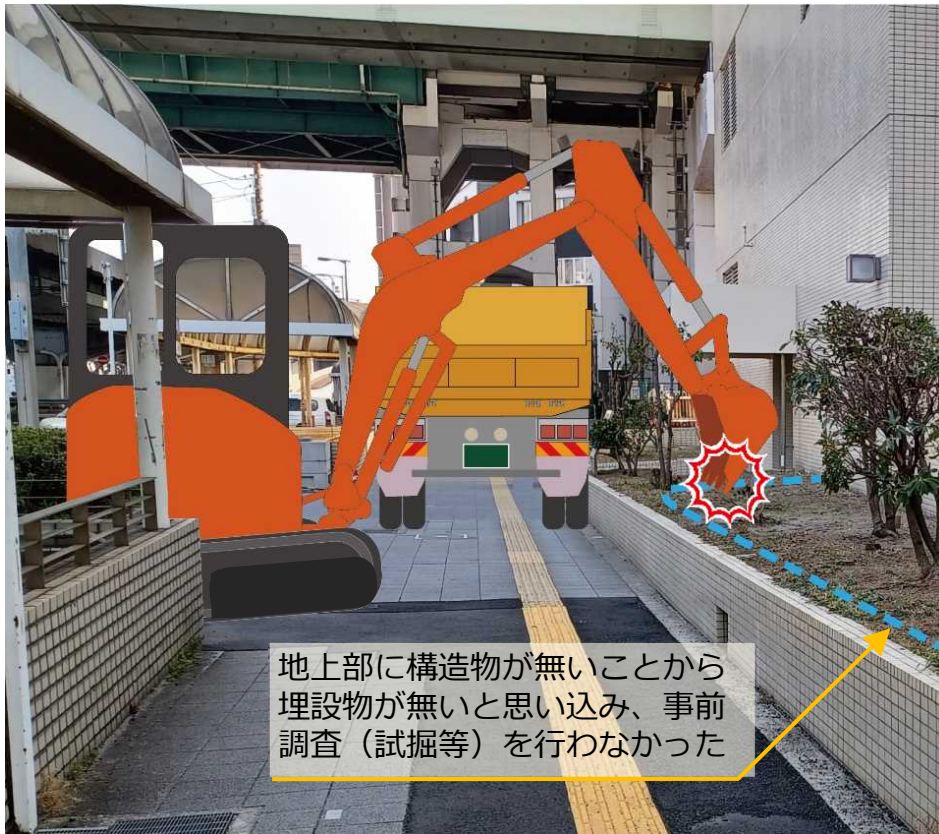
地下埋設物の事前調査は必須です！

～地中に埋まって見えないからこそ、しっかりと確認を行いましょ～

地下埋設物の損傷は、ライフラインの切断によって生活や経済活動に支障をきたすだけでなく、火災やガス爆発といった重大災害につながる危険もあります。作業に先立ち事故防止策を講じ、事故を防ぎましょう。



事故事例 事前調査（試掘等）をせず、事故発生



地上部に構造物が無いことから埋設物が無いと思い込み、事前調査（試掘等）を行わなかった

←重機の配置はイメージです

被災状況



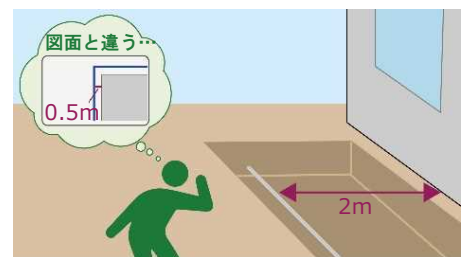
水道管を切断

【事故概要】 公共施設の敷地内において植栽帯を撤去する際、埋設されていた散水用の水道管をバックホウで切断。

【主な要因】 水道管の事前調査（試掘等）を行わなかった。



地下埋設物の事故には、埋設物が図面に記入されていない、誤って記入されている、埋設物管理者が埋設物位置を誤認している、といったケースが多くみられます。



埋設物がないと思われる場所でも、台帳との照らし合わせや試掘等の事前調査を徹底し、バックホウなど掘削機械を使用する場合は、刃先監視員を配置して、十分に注意しながら作業を行いましょ。



飛来落下事故は共同作業者を巻き込むこともあります！

～小さなものでも高所から落下すると、地上の人や物に大きなダメージを与えます～

現場では高所での作業も頻繁にあります。作業員の墜落の危険だけでなく、資材や工具などを落下させることで人や物を傷つける危険もあります。



事件事例 作業箇所の変更が報告されず、事故発生

【事故概要】

型枠用鉄板の設置時に、鉄板（重さ 合計 192kg）が落下し、下方にいた作業員の左足等に当たった。

【主な要因】

- ① 型枠は溶接しておらず、適切に固定していなかった。
- ② 上下作業に伴う危険性を把握しないまま作業を進めた。
- ③ 1次下請けの班長及び作業員の判断で前日の打合せと違う箇所での作業を行い、作業箇所を変更したことを元請に報告していなかった。
- ④ 安全巡視が出来ていなかった。



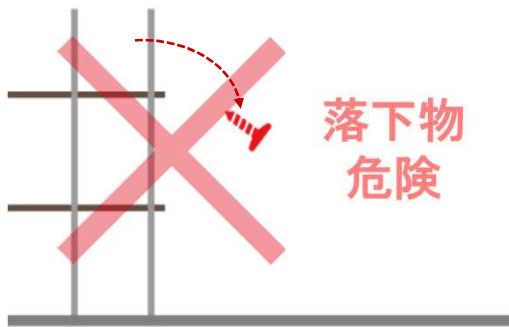
○労基からの指導

労働基準監督署から元請および1次下請けに対し、**安全衛生指導書**が交付されました。



上下作業は避けましょう。

上下作業にならないように、**事前に作業箇所・作業内容・時間等を調整**しましょう。



防網（安全ネット）を設置するとともに、日頃から**整理整頓**や**落下の危険性のあるものの排除**、**落下防止用のコードを活用**するように心がけましょう。



新たな年、安全な未来への第一歩を！
～新たな気持ちで気を引き締め、事故を防止しましょう～



本格的な冬を迎え、凍結・積雪・寒冷等を原因とする転倒、交通事故等の冬季特有の事故の危険が高まります。季節に応じた対策をしっかりと講じて無事故で新しい年を迎えましょう。